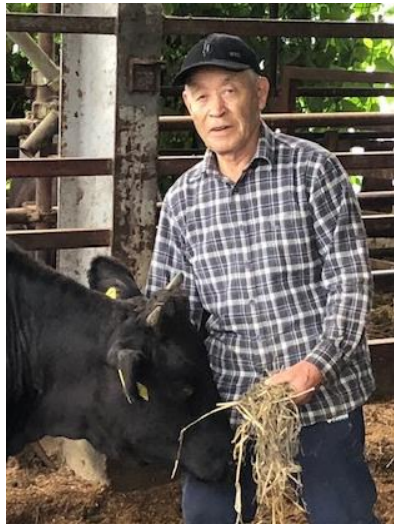


あの人この人

農業経営一筋に



吉田次好さん（五代町）

農家の長男として生まれ、その時代、その時代に即応しながら農業の厳しさを克服し、力強く営んできた吉田次好さんを訪ね、話を伺ってきました。

次好さんの家は、米、麦、養蚕を中心とした農業を営んでいましたが、昭和32年に次好さんが高校を卒業したのを機会に、主体を酪農に切り替え、30数年間にわたり農業経営に取り組んできました。平成に入り、工業団地の造成で田畑の耕作面積が少なくなつたため、繁殖和牛の飼育に移行し、稲作と胡瓜などの野菜栽培を併せた農業経営を行っているそうです。

この間に、特に心に残っていることが、2つあるそうです。1つは、群馬用水の計画が持ち上がり、五代町も参加することになりました。芝久保沼周辺の区画整理と道路整備、田畑の灌

漑整備を完備する計画です。30代後半という若さでしたが、町の地権者の代表として参加し、町のまとめ役なども経験したことで、たいへんなことも多々ありましたが、灌漑整備事業が完成した時は、本当にうれしく感慨無量であったとのことでした。いま残念に思うことは、水田の補給水利用と畑の灌漑設備があるのに、五代町では、十分に利用されていないことです。もう1つは、平成4年に小神明町にライスセンターが完成し、これを契機に各町に稲麦を刈取る機械化組合が設立されたことです。五代町も「4条刈コンバイン」2台を取得し、「五代町刈取組合」を設立しました。初代の組合長に選出され、最大で20ha程の稲麦を刈取りました。機械化組合の運営には、刈取りの技術をはじめ、法人経営に関する知識も必要です。最初の3年間は様々な問題点がありましたが、運営も徐々に軌道に乗り、五代町の水田経営に必要な組合として成長しました。その後、五代町は、2度の工業団地造成によって、耕作面積が3分の1程度に減り、組合の加入者も変わったため、新たな刈取組合を設立したそうです。

この2つの事業の推進に真剣に取り組んできたことが、心に強く残っているそうです。

また、平成20年に自治会長に就任し、町内の諸問題に対処してきたことは、思考の幅が広がり、良い経験になったと述懐しています。

お話を伺う中で、60年にわたり質の高い安定した農業経営を目指し、真剣に生きてきた次好さんが、満足感と安堵感に満ちていることを感じるとともに、今後のますますの健康と幸せを強く願いました。

五代町生涯学習奨励員 吉田 正

前橋市立図書館芳賀分館だより

あたりらしく入った本の紹介

一般書

著者名

- | | |
|----------------|--------|
| 沈黙のパレード「ガリレオ」 | 東野 圭吾 |
| 下町ロケット「4」ヤタガラス | 池井戸 潤 |
| エムエス 継続捜査ゼミ 2 | 今野 敏 |
| 天子蒙塵 4 | 浅田 次郎 |
| どんまい | 重松 清 |
| 宴の前 | 堂場 瞬一 |
| ひとつむぎの手 | 知念 実希人 |
| 龍華記 | 澤田 瞳子 |
| 湖底の城 9巻 | 宮城谷 昌光 |
| はしからはしまで | 梶 よう子 |

児童書・絵本

まいにちがプレゼント
やるもんやるもんこちゃんややる！
かたつむりタクシー
ぼくのくつしたおまけつき
ねこです。
パフェをつくらう！
パンのずかん
NEWウオーリーハリウッドへいく

☆毎週木曜日は休館日です。

★12月3日（月）全館休館日

◆冬の分館行事「おはなし広場」を開催します。（日程が決まり次第芳賀分館内に掲示いたします）